



文 博 員
伊 藤 議 員
展 開 は
ジ オ パ ー ク 事 業 の

糸魚川ジオパーク事業
の具体的な取り組みは

質 問

観光案内にかかわるハード
・ソフトの充実及び市外に
向けてのPR方法について
伺う。

市長答弁

観光案内の充実については、
ハード面では、本年度に引き
続き、誘導標識の充実、各ジ
オサイトの解説板の整備を行
っていく。ソフト面では、パ
ンフレットを作成し、道の駅、
パーキングエリア、糸魚川駅
等で配置するほか、各ジオサ

イトのガイドブック・リーフ
レットの作成や糸魚川駅前観
光案内所の機能強化、定期観
光バス運行の増便、ガイド養
成、2次交通の確保などを予
定している。

市外向けPR方法について
は、引き続き、東京駐在所を
設置し首都圏での旅行関係者
・出身者会等へのPRを行う
ほか、旅行情報誌及び新聞・
テレビなど、マスコミへの情
報提供を行い、情報発信して
いく。

職員の意識改革は

質 問

職員の意識改革についての
必要性及び意識改革への啓発
について伺う。

市長答弁

意識改革の必要性について
は、職員一人ひとりが、市民
が主体であるという認識を常
に持つことが重要であり、そ
のための意識改革が必要と考
えている。

啓発については、定例の部
課長会議においても、市民サ

ービスの質の向上を図るため
に、まず指導的立場にある部
課長が先頭になって職員の能
力を引き出すような職場環境
づくりをするように指示して
いる。

また、各種職員研修を実施
し、職員の職務遂行能力の向
上と市民サービスの向上のた
めの意識改革に努めている。

《その他質問項目》

・日本一の子どもを育てる



実 員
中 村 議 員
の 経 営 計 画 は
権 現 荘 と 柵 口 温 泉 セ ン タ ー

柵口温泉センター閉鎖
に至る経過は

質 問

柵口温泉権現荘経営改革
実施計画として、温泉センタ
ーを閉鎖することや本館での
宿泊客の受入れを休止するこ

市長答弁

とが委員会で示されたが、温
泉センター閉鎖に至る経過に
ついて伺う。

温泉センター閉鎖に至る経
過については、建物や設備の
老朽化も進み、年々故障等が
多く、施設を継続する場合、

多額な改修費が必要となるこ
と、また、同一敷地内に日帰
り入浴施設が2か所あり、い
ずれも年々利用者数が減少し
ていることから、温泉センタ
ーを閉鎖することとした。

柵口温泉権現荘経営改革案
の住民説明会後の市の考え及
び権現荘の今後の経営計画
とジオパーク効果について
伺う。

市長答弁

住民説明会後の市の考えに
ついては、住民説明会等で頂
いた様々な意見や提案につい
て可能な限り反映させながら、
再度、住民説明会を開いて、
温泉センターの閉鎖に理
解を頂きたいと考えている。

権現荘の今後の経営計画と
ジオパーク効果については、

各種売上増加策や施設設備等
の維持経費削減策を実施して
いく。また、権現岳ジオサイ
トの中核施設として、ジオサイ
トに訪れる市内外のお客様の
宿泊や休憩、各種研修や体験
の場としての役割を担い、集
客に努めていく。

